

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人福島大学

(2) 大学名

福島大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒960-1296
福島県福島市金谷川1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミウラ ヒロキ) 三浦 浩喜 (令和2年4月)	該当なし	
研究科長	(アライ サトシ) 荒井 聡 (令和5年4月)	該当なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食農科学研究科 食農科学専攻 修士(農学)	農学関係	2 年	20 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	40 人	-	【基礎となる学部等】 農学群食農学類

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	20 () []	人 () []	人 () []	人 () []	-	1.97倍	一倍								
志願者数	() []	46 []	2 []	36 []	() []	-										
受験者数	() []	46 []	2 []	36 []	() []	-										
合格者数	() []	45 []	1 []	36 []	() []	-										
B 入学者数	() []	45 []	1 []	35 []	() []	-										
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	2.30	1.75						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設置を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	1 [-] (-)	35 [-] (-)	- [-] (-)									
2 年次			- [-] (-)	43 [1] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)						
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	44 [1] (-)	35 [-] (-)										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、**春季入学**と**その他の学期**(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	46 人	2 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	2 人	0 人	除籍(1人)、その他(1人)
令和6年度	79 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{46} = \boxed{4.34} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食農科学研究科 食農科学専攻 (M)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科基大 目盤学院	イノベーション・リテラシー	1①②	2									1
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
科基専 目盤攻	データサイエンスと研究倫理	1①②	2			1	8					
	小計(1科目)	-	2	0	0	1	8	0	0	0	0	
共通 専門 科目	食農科学ワークショップ I	1②	1			15	22					
	食農科学ワークショップ II	2②	1			15	22					
	先端食品科学	1①	1	1		5	5					
	先端農業生産科学	1②	1	1		4	6					
	先端生産環境科学	1①	1	1		3	7					
	先端農業経営科学	1②	1	1		3	4					
	復興知と農業・食料のイノベーション	1③④	2			5	2					
	アグロエコロジー	1③④	2			5	4					
	食農地域実践研究	1①~④	1			15	22					
	小計(9科目)	-	2	9	0	15	22	0	0	0	0	
食品 工学 科学 科目	食品素材機能学特論	1①②	2	2		2	2					
	食品分析学特論	1①②	2	1		2	2					
	微生物機能開発学	1①②	2	2		2	1					
小計(3科目)	-	0	6	0	5	5	0	0	0	0		
専 門 科 目	作物学	1①	1	1		1						
	遺伝育種科学	1①	1	1		1						
	育土栽培学	1③	1	1		1						
	野菜・花卉園芸学特論	1④	1	1		1						
	果樹園芸学特論	1①	1	1		1						
	応用昆虫学特論	1②	1	1		1						
	植物病理学特論	1③	1	1		1						
	土壌環境科学	1②	1	1		1						
	植物栄養学特論	1②	1	1		1						
	畜産学	1②	1	1		1						
小計(10科目)	-	0	10	0	4	6	0	0	0	0		
コ ス ス 環 境 科 学 目 科 目	先端森林管理学	1①②	2	1		3						
	先端農地管理学	1①②	2	1		2						
	農林環境生態学	1③④	2	2		2						
小計(3科目)	-	0	6	0	3	7	0	0	0	0		
コ ス ス 農 業 目 科 目	地域農業マネジメント論	1①②	2	2		2						
	フードビジネス分析論	1①②	2	1		2						
	農業経済・政策分析論	1③④	2	2		2						
小計(3科目)	-	0	6	0	3	4	0	0	0	0		
演 習 別	食農科学特別セミナー	1①~2②	6	0		15	22					
	小計(1科目)	-	6	0	0	15	22	0	0	0	0	
研 究 別	食農科学特別研究	1①~2④	8	0		15	22					
	小計(1科目)	-	8	0	0	15	22	0	0	0	0	
合計(32科目)			-	20	37	0	15	22	0	0	0	1
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 専攻の修了には、大学院基礎科目2単位、専攻基礎科目2単位、専門科目(共通専門科目)2単位、専門科目(特別演習)6単位、専門科目(特別研究)8単位を必修として、これらを含め30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												
<ul style="list-style-type: none"> <大学院基礎科目>2単位 (必修2単位) <専攻基礎科目>2単位 (必修2単位) <専門科目>26単位 (必修16単位 選択10単位) (共通専門科目)4単位 (必修2単位 選択2単位) ・食農科学ワークショップ I・食農科学ワークショップ II 2科目2単位必修 ・「先端食品科学」、「先端農業生産科学」、「先端生産環境科学」、「先端農業経営科学」から所属するコースの科目を含め2科目2単位選択 (コース科目)4単位 (選択4単位) ・所属するコースの科目を2科目以上4単位選択 (共通専門科目・コース科目)上記の単位数に加え、共通専門科目・コース科目(全コース)から4単位選択 (特別演習)6単位必修 ・必修1科目6単位 (特別研究)8単位必修 ・必修1科目8単位 												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科基大 目盤学院	イノベーション・リテラシー	1①②	2									1
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
科基専 目盤攻	データサイエンスと研究倫理	1①②	2			3	5	1				1
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	5	1	0	0	0	1
共通 専門 科目	食農科学ワークショップ I	1②	1			20	14	1				3
	食農科学ワークショップ II	2②	1			20	14	1				3
	先端食品科学	1①	1	1		4	3					3
	先端農業生産科学	1②	1	1		7	3					
	先端生産環境科学	1①	1	1		5	5					
	先端農業経営科学	1②	1	1		4	3	1				
	復興知と農業・食料のイノベーション	1③④	2			6	1					
	アグロエコロジー	1③④	2			8	1					
	食農地域実践研究	1①~④	1			20	14	1				3
	小計(9科目)	-	2	9	0	20	14	1	0	0	0	3
コ ス ス 環 境 科 学 目 科 目	食品素材機能学特論	1①②	2	2		2	2					
	食品分析学特論	1①②	2	1		1	1					1
	微生物機能開発学	1①②	2	2		1	0					2
小計(3科目)	-	0	6	0	4	3	0	0	0	0	3	
専 門 科 目	作物学	1①	1	1		1						
	遺伝育種科学	1①	1	1		1						
	育土栽培学	1③	1	1		1						
	野菜・花卉園芸学特論	1④	1	1		1						
	果樹園芸学特論	1①	1	1		1						
	応用昆虫学特論	1②	1	1		1						
	植物病理学特論	1③	1	1		1						
	土壌環境科学	1②	1	1		1						
	植物栄養学特論	1②	1	1		1						
	畜産学(未開講)	1②	1	1		1						
小計(10科目)	-	0	10	0	7	3	0	0	0	0		
コ ス ス 農 業 目 科 目	先端森林管理学	1①②	2	1		3						
	先端農地管理学	1①②	2	2		2	1					
	農林環境生態学	1③④	2	2		3	1					
小計(3科目)	-	0	6	0	6	6	0	0	0	0		
コ ス ス 農 業 目 科 目	地域農業マネジメント論	1①②	2	2		2						
	フードビジネス分析論	1①②	2	1		2	1					
	農業経済・政策分析論	1③④	2	2		2	1					
小計(3科目)	-	0	6	0	4	3	1	0	0	0		
演 習 別	食農科学特別セミナー	1①~2②	6	0		20	14	1				3
	小計(1科目)	-	6	0	0	20	14	1	0	0	0	3
研 究 別	食農科学特別研究	1①~2④	8	0		20	14	1				3
	小計(1科目)	-	8	0	0	20	14	1	0	0	0	3
合計(32科目)			-	20	37	0	20	14	1	0	0	4
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 専攻の修了には、大学院基礎科目2単位、専攻基礎科目2単位、専門科目(共通専門科目)2単位、専門科目(特別演習)6単位、専門科目(特別研究)8単位を必修として、これらを含め30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												
<ul style="list-style-type: none"> <大学院基礎科目>2単位 (必修2単位) <専攻基礎科目>2単位 (必修2単位) <専門科目>26単位 (必修16単位 選択10単位) (共通専門科目)4単位 (必修2単位 選択2単位) ・食農科学ワークショップ I・食農科学ワークショップ II 2科目2単位必修 ・「先端食品科学」、「先端農業生産科学」、「先端生産環境科学」、「先端農業経営科学」から所属するコースの科目を含め2科目2単位選択 (コース科目)4単位 (選択4単位) ・所属するコースの科目を2科目以上4単位選択 (共通専門科目・コース科目)上記の単位数に加え、共通専門科目・コース科目(全コース)から4単位選択 (特別演習)6単位必修 ・必修1科目6単位 (特別研究)8単位必修 ・必修1科目8単位 												

【令和5年度】

科目区分	授業科目名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	手		
科基大 目盤学 院	イノベーション・リテラシー	1①②	2									1
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
科基専 目盤攻	データサイエンスと研究倫理	1①②	2			3	6	1				
	小計(1科目)	—	2	0	0	3	6	1	0	0	0	
共通 専門 科目	食農科学ワークショップ I	1②	1			21	15	1				1
	食農科学ワークショップ II	2②	1			21	15	1				1
	先端食品科学	1①	1			5	4					1
	先端農業生産科学	1②	1			7	3					
	先端生産環境科学	1①	1			5	5					
	先端農業経営科学	1②	1			4	3	1				
	復興知と農業・食料のイノベーション	1③④	2			6	1					
	アグロエコロジー	1③④	2			8	1					
	食農地域実践研究	1①~④	1			21	15	1				1
	小計(9科目)	—	2	9	0	21	15	1	0	0	0	1
コ食 品入 科 目 目	食品素材機能学特論	1①②	2			2	2					
	食品分析学特論	1①②	2			1	1					1
	微生物機能開発学	1①②	2			2	1					
	小計(3科目)	—	0	6	0	5	4	0	0	0	0	1
専 門 科 目 目	作物学	1①	1			1						
	遺伝育種科学	1①	1			1						
	育土栽培学	1③	1				1					
	野菜・花卉園芸学特論	1④	1			1						
	果樹園芸学特論	1①	1				1					
	応用昆虫学特論	1②	1			1						
	植物病理学特論	1③	1				1					
	土壌環境科学	1②	1			1						
	植物栄養学特論	1②	1			1						
	畜産学	1②	1			1						
小計(10科目)	—	0	10	0	7	3	0	0	0	0		
コ食 産環 科 目 目	先端森林管理学	1①②	2			1	3					
	先端農地管理学	1①②	2			2	1					
	農林環境生態学	1③④	2			3	1					
	小計(3科目)	—	0	6	0	5	5	0	0	0	0	
コ食 産経 科 目 目	地域農業マネジメント論	1①②	2			2						
	フードビジネス分析論	1①②	2			2	1					
	農業経済・政策分析論	1③④	2				2	1				
	小計(3科目)	—	0	6	0	4	3	1	0	0	0	
演特 習別	食農科学特別セミナー	1①~2②	6			21	15	1				1
	小計(1科目)	—	6	0	0	21	15	1	0	0	0	1
研特 究別	食農科学特別研究	1①~2④	8			21	15	1				1
	小計(1科目)	—	8	0	0	21	15	1	0	0	0	1
合計(32科目)			—	20	37	0	21	15	1	0	0	2

卒業要件及び履修方法

【修了要件】
専攻の修了には、大学院基礎科目2単位、専攻基礎科目2単位、専門科目(共通専門科目)2単位、専門科目(特別演習)6単位、専門科目(特別研究)8単位を必修として、これらを含め30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

<大学院基礎科目>2単位(必修2単位)
<専攻基礎科目>2単位(必修2単位)
<専門科目>26単位(必修16単位 選択10単位)
(共通専門科目)4単位(必修2単位 選択2単位)
・食農科学ワークショップ I・食農科学ワークショップ II 2科目2単位必修
・「先端食品科学」、「先端農業生産科学」、「先端生産環境科学」、「先端農業経営科学」から所属するコースの科目を含め2科目2単位選択
(コース科目)4単位(選択4単位)
・所属するコースの科目を2科目以上4単位選択
(共通専門科目・コース科目)上記の単位数に加え、共通専門科目・コース科目(全コース)から4単位選択
(特別演習)6単位必修
・必修1科目6単位
(特別研究)8単位必修
・必修1科目8単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当教員の昇任及び就任により、「データサイエンスと研究倫理」の専任教員等の配置を「教授1、准教授8、講師0」から「教授3、准教授6、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任、他機関転出及び就任により、「食農科学ワークショップI」「食農科学ワークショップII」の専任教員等の配置を「教授15、准教授22、講師0、兼任・兼任0」から「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の他機関転出により、「先端食品科学」の専任教員等の配置を「准教授5、兼任・兼任0」から「准教授4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端農業生産科学」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6」から「教授7、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端生産環境科学」の専任教員等の配置を「教授3、准教授7」から「教授5、准教授5」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「先端農業経営科学」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4、講師0」から「教授4、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「復興知と農業・食料のイノベーション」の専任教員等の配置を「教授5、准教授2」から「教授6、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「アグロエコロジー」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4」から「教授8、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、他機関転出及び就任により、「食農地域実践研究」の専任教員等の配置を「教授15、准教授22、講師0、兼任・兼任0」から「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の他機関転出により、「食品分析学特論」の専任教員等の配置を「准教授2、兼任・兼任0」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「遺伝育種科学」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「野菜・花卉園芸学特論」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「植物栄養学特論」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端農地管理学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「農林環境生態学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「フードビジネス分析論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任により、「農業経済・政策分析論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任、他機関転出及び就任により、「食農科学特別セミナー」「食農科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授15、准教授22、講師0、兼任・兼任0」から「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」に変更。

【令和6年度】

- ・担当教員の他機関転出に伴い、次のとおり変更。
- ・「データサイエンスと研究倫理」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師1」から「教授3、准教授5、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・「食農科学ワークショップI」「食農科学ワークショップII」の専任教員等の配置を「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」から「教授20、准教授14、講師1、兼任・兼任3」に変更。
- ・「先端食品科学」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、兼任・兼任1」から「教授4、准教授3、兼任・兼任3」に変更。
- ・「食農地域実践研究」の専任教員等の配置を「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」から「教授20、准教授14、講師1、兼任・兼任3」に変更。
- ・「微生物機能開発学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授0、兼任・兼任2」に変更。
- ・「食農科学特別セミナー」「食農科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授21、准教授15、講師1、兼任・兼任1」から「教授20、准教授14、講師1、兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	26 科目	0 科目	32 科目	6 科目 []	26 科目 []	0 科目 []	32 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他のうち、 借地19,187㎡ を含む 借用期間：20年		
	校舎敷地	170,811㎡	0㎡	0㎡	170,811㎡			
	運動場用地	81,940㎡	0㎡	0㎡	81,940㎡			
	小 計	252,751㎡	0㎡	0㎡	252,751㎡			
	そ の 他	199,330㎡	0㎡	0㎡	199,330㎡			
	合 計	452,081㎡	0㎡	0㎡	452,081㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		76,079㎡ (76,079㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	76,079㎡ (76,079㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 34室	演 習 室 76 62室	実験実習室 126 95室	情報処理学習施設 1 9室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体 令和5年4月大学院改 革に伴う変更(5) BYOD移行に伴う変更 (5)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		令和5年4月 専任教員1名を新規 採用のため(5)	
		食農科学研究科			38 37 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不 可能なため、大学全体 の数
	食農科学研究科	960,000[236,700] (972,613[237,679]) (967,942[237,471]) (958,833[236,638])	13,522[2,731] (13,656[3,593]) (13,522[2,732])	21,064[21,064] (18,034[18,034]) (21,686[21,686]) (21,064[21,064])	4657 (4,747) (4,721) (4,657)	0 0	0 0	
	計	960,000[236,700] (972,613[237,679]) (967,942[237,471]) (958,833[236,638])	13,522[2,731] (13,656[3,593]) (13,522[2,732])	21,064[21,064] (18,034[18,034]) (21,686[21,686]) (21,064[21,064])	4657 (4,747) (4,721) (4,657)	0 0	0 0	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 生協跡地等への座席増 (5) 飲食エリアのリニュー アルによる座席数増 (6)		
		10,638㎡	72069+664席	1,113,194冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,778㎡	陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、バレー ボールコート、弓道場、ハンドボール場、水泳プール、馬術場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福島大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
人文社会学群	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人間発達文化学類	4	685	3年次30	2,800	学士(発達文化)	1.06	1.05	-	平成17	福島県福島市金谷川1番地	
行政政策学類	4	260	3年次10	1,060	学士(社会学)	1.05	1.03	-	平成17	同上	
行政政策学類 夜間主コース	4	185	3年次10	760	学士(社会学)	1.05	0.98	-	平成31	同上	
経済経営学類	4	20	-	80	学士(社会学)	1.05	0.98	-	平成31	同上	
経済経営学類	4	220	3年次10	900	学士(経済学)	1.05	1.03	-	平成17	同上	
理工学群	4	160	-	640							
共生システム理工学類	4	160	-	640	学士(理工学)	1.11	1.06	-	平成17	福島県福島市金谷川1番地	
農学群	4	100	-	400							
食農学類	4	100	-	400	学士(農学)	1.07	1.04	-	平成31	福島県福島市金谷川1番地	
大学全体	4	945	3年次30	3,840	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<食農科学研究科 食農科学専攻 (M)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 幹 <令和5年4月> 農学博士 医学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	平 修 <令和5年4月> 博士(材料科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	熊谷 武久 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	藤井 力 <令和5年4月> 博士(理学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	西村 順子 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 幹 <令和5年4月> 農学博士 医学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	平 修 <令和5年4月> 博士(材料科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	熊谷 武久 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	藤井 力 <令和5年4月> 博士(理学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	西村 順子 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 幹 <令和5年4月> 農学博士 医学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	平 修 <令和5年4月> 博士(材料科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	熊谷 武久 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	藤井 力 <令和5年4月> 博士(理学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任 講師	講師	西村 順子 <令和5年4月> 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 洋司 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 作物学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	篠田 徹郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 応用昆虫学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	大瀬(鈴木) 健嗣 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 土壌環境科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	石川 尚人 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 畜産学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	金子 信博 ＜令和5年4月＞ 農学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	神宮宇 寛 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 洋司 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 作物学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	篠田 徹郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 応用昆虫学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	大瀬(鈴木) 健嗣 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 土壌環境科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	石川 尚人 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 畜産学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	金子 信博 ＜令和5年4月＞ 農学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	神宮宇 寛 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 洋司 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 作物学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	篠田 徹郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 応用昆虫学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	大瀬(鈴木) 健嗣 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 土壌環境科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	石川 尚人 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 畜産学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	金子 信博 ＜令和5年4月＞ 農学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	神宮宇 寛 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原田 茂樹 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授 (研究科長)	荒井 聡 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	河野 恵伸 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	小山 良太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	石川 大太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	尾形 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原田 茂樹 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授 (研究科長)	荒井 聡 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	河野 恵伸 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	小山 良太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任	講師	石川 大太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	尾形 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原田 茂樹 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授 (研究科長)	荒井 聡 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	河野 恵伸 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	小山 良太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 地域農業マネジメント論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任	講師	石川 大太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	尾形 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉永 和明 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	升本 早枝子 ＜令和5年4月＞ 博士(生活科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	渡部 潤 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	高橋 秀和 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 遺伝育種科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	渡邊 芳倫 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 育土栽培学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	深山 陽子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 野菜・花卉園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉永 和明 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	升本 早枝子 ＜令和5年4月＞ 博士(生活科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	渡部 潤 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	高橋 秀和 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 遺伝育種科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	渡邊 芳倫 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 育土栽培学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	深山 陽子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 野菜・花卉園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉永 和明 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品分析学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	升本 早枝子 ＜令和5年4月＞ 博士(生活科学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 食品素材機能学特論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任 講師	講師	渡部 潤 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端食品科学※ 食農地域実践研究 微生物機能開発学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	高橋 秀和 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 遺伝育種科学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	渡邊 芳倫 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 育土栽培学 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	深山 陽子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 野菜・花卉園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 大輔 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 果樹園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	岡野 夕香里 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 植物病理学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	二瓶 直登 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 植物栄養学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	福島 慶太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	望月 翔太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	藤野 正也 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 大輔 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 果樹園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	岡野 夕香里 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 植物病理学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	二瓶 直登 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 植物栄養学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	福島 慶太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	望月 翔太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	藤野 正也 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 大輔 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 果樹園芸学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	岡野 夕香里 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 食農地域実践研究 植物病理学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	二瓶 直登 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業生産科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ アグロエコロジー※ 食農地域実践研究 植物栄養学特論 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	福島 慶太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	望月 翔太 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	藤野 正也 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石井 秀樹 ＜令和5年4月＞ 修士(環境学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	申 文浩 ＜令和5年4月＞ 博士(生物資源工学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	牧 雅康 ＜令和5年4月＞ 博士(社会工学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	窪田 陽介 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	原田 英美 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	則藤 孝志 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石井 秀樹 ＜令和5年4月＞ 修士(環境学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	申 文浩 ＜令和5年4月＞ 博士(生物資源工学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	牧 雅康 ＜令和5年4月＞ 博士(社会工学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	窪田 陽介 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	原田 英美 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	則藤 孝志 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石井 秀樹 ＜令和5年4月＞ 修士(環境学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 復興知と農業・食料のイノベーション※ 食農地域実践研究 先端森林管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	申 文浩 ＜令和5年4月＞ 博士(生物資源工学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 農林環境生態学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	牧 雅康 ＜令和5年4月＞ 博士(社会工学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	窪田 陽介 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端生産環境科学※ 食農地域実践研究 先端農地管理学※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	教授	原田 英美 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	則藤 孝志 ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 フードビジネス分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高山 太輔 <令和5年4月> 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	林 薫平 <令和5年4月> 修士(農学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任	教授	岩井 秀樹 <令和5年4月> 商船学士
		イノベーション・リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高山 太輔 <令和5年4月> 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	林 薫平 <令和5年4月> 修士(農学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	講師	高野 真広 <令和5年4月> 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任	教授	岩井 秀樹 <令和5年4月> 商船学士
		イノベーション・リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高山 太輔 <令和5年4月> 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	准教授	林 薫平 <令和5年4月> 修士(農学)※
		食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
専	講師	高野 真広 <令和5年4月> 博士(農学)
		データサイエンスと研究倫理※ 食農科学ワークショップⅠ 食農科学ワークショップⅡ 先端農業経営科学※ 食農地域実践研究 農業経済・政策分析論※ 食農科学特別セミナー 食農科学特別研究
兼任	教授	岩井 秀樹 <令和5年4月> 商船学士
		イノベーション・リテラシー

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年4月石川大太郎教員の専任・兼任・兼任の別を「専」から「兼任」に、職名を「准教授」から「講師」に変更。令和6年4月後任採用予定。
- ・令和5年4月高橋秀和教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月深山陽子教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月二瓶直登教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月申文浩教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月牧雅康教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月原田英美教員の職名を「准教授」から「教授」に変更。令和5年2月教員審査済み。
- ・令和5年4月高野真広講師就任。令和5年2月教員審査済み。

【令和6年度】

- ・令和6年4月採用予定となっていた石川大太郎教員の後任採用について、令和6年5月教員審査に向けて準備中。
- ・令和6年4月西村順子教員の専任・兼任・兼任の別を「専」から「兼任」に、職名を「教授」から「講師」に変更。後任採用について令和6年5月教員審査に向けて準備中。
- ・令和6年4月渡部潤教員の専任・兼任・兼任の別を「専」から「兼任」に、職名を「准教授」から「講師」に変更。後任採用について学類内にて教員選考中。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
15	22	0	0	37	0	20	14	1	0	35	0
(21)	(15)	(1)	(0)	(37)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
37	15	0	0			35	20	0	0		
(37)	(21)	(0)	(0)			(35)	(20)	(0)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
20	14	1	0	35	0	21	16	1	0	38	0
[5]	[Δ8]	[1]	[0]	[Δ2]	[0]	[6]	[Δ6]	[1]	[0]	[1]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
35	20	0	0			38	21	0	0		
(Δ2)	(5)	(0)	(0)			(38)	(21)	(0)	(0)		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{35}{37} = \boxed{94.59} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{35} = \boxed{8.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	石川 大太郎	R5.3	必修	食農科学ワークショップⅠ	②	R5.3.31付け退職のため就任辞退（5）						
				必修	食農科学ワークショップⅡ	②							
				選択	先端食品科学	②							
				選択	食農地域実践研究	②							
				選択	食品分析学特論	②							
				必修	食農科学特別セミナー	②							
				必修	食農科学特別研究	②							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	0	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	西村 順子	R6.3	必修	食農科学ワークショップⅠ	②	R6.3.31付け一身上（家庭）の都合のため辞任（6）						
				必修	食農科学ワークショップⅡ	②							
				選択	先端食品科学	②							
				選択	食農地域実践研究	②							
				選択	微生物機能開発学	②							
				必修	食農科学特別セミナー	②							
				必修	食農科学特別研究	②							
2	准教授	渡部 潤	R6.3	必修	データサイエンスと研究倫理	②	R6.3.31付け一身上（家庭）の都合のため辞任（6）						
				必修	食農科学ワークショップⅠ	②							
				必修	食農科学ワークショップⅡ	②							
				選択	先端食品科学	②							
				選択	食農地域実践研究	②							
				選択	微生物機能開発学	②							
				必修	食農科学特別セミナー	②							
必修	食農科学特別研究	②											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	0	科目	計	15	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	13	科目	必修	0	科目	必修	13	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	0	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	0	科目	計	22	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{37} = 8.1 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ **令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。**

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・令和5年3月末の退職1名（准教授）の後任採用（令和6年10月付け）に向けて準備を進めている。
- ・令和6年3月末の退職1名（教授）の後任採用（令和6年10月付け）に向けて準備を進めている。
- ・令和6年3月末の退職1名（准教授）の後任採用を学類内にて教員選考中である。
- ・上記3名の担当科目は同教員が非常勤講師（兼任）として担当するため、学生の履修・修学上の影響は無い。

(注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食農科学研究科 食農科学専攻（M）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																										
アドミッション・ポリシー	<p>アドミッション・ポリシー（一部追加）</p> <p>（3）入試の際に求める知識・技能・意欲 食農科学研究科での科目の履修と修士論文研究の遂行に必要な知識、技能、意欲を求めます。 ・農学系大学・学部の学士課程までに学ぶ基礎的な知識 ・学修・研究に対する主体性と論理的で柔軟な思考力、理解力、応用力及び表現力 ・社会課題に挑戦する意欲と、その解決のために協働して課題に取り組む意欲</p> <p>（4）入学者選抜の基本方針 前記のアドミッション・ポリシーに基づき、入学者選抜を実施します。下の表に示すように、一般選抜、推薦特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の4つの区分で、筆記試験、口述試験及び出願書類を総合的に判断して選抜を行います。 筆記試験、口述試験、出願書類を基に、本研究科が求める知識・技能・意欲を備えているかを総合的に評価します。</p> <table border="1" data-bbox="805 1048 1460 1361"> <caption>表：入学者選抜の区分と試験</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">入試区分</th> <th colspan="2">筆記試験</th> <th rowspan="2">外国語</th> <th rowspan="2">推薦書</th> <th rowspan="2">成績証明書</th> <th rowspan="2">口述試験</th> <th rowspan="2">志願理由書</th> </tr> <tr> <th>専門領域</th> <th>小論文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般選抜</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>推薦特別選抜</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>社会人特別選抜</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>外国人留学生特別選抜</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	入試区分	筆記試験		外国語	推薦書	成績証明書	口述試験	志願理由書	専門領域	小論文	一般選抜	○		○		○	○	○	推薦特別選抜			○	○	○	○	○	社会人特別選抜		○			○	○	○	外国人留学生特別選抜	○		○		○	○	○
入試区分	筆記試験		外国語	推薦書						成績証明書	口述試験	志願理由書																															
	専門領域	小論文																																									
一般選抜	○		○		○	○	○																																				
推薦特別選抜			○	○	○	○	○																																				
社会人特別選抜		○			○	○	○																																				
外国人留学生特別選抜	○		○		○	○	○																																				

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、恒常的なFD活動を実施するため、令和元年度の全学再編時に設置した「教育推進機構 高等教育企画室」において全学FDの企画・立案を行い、その実施を全学教務協議会が担う体制とした。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

令和5年度、高等教育企画室会議は教育・学生担当副学長、基盤教育主管、企画室所属教員、教務課長を構成員として毎月1回の頻度で年間10回開催した。

c 委員会の審議事項等

1) 教育推進機構高等教育企画室

- ・高等教育政策及び実践の分析に関すること。
- ・ファカルティ・ディベロップメントの取組に関すること。
- ・機関調査及び学生調査に関すること。
- ・その他企画室の目的を達成するために必要な業務

2) 全学教務協議会

- ・全学の教務管理に関すること。
- ・全学の内部質保証の実施に関すること。
- ・全学の非常勤講師計画に関すること。
- ・単位互換の実施に関すること。
- ・学類教育と基盤教育との調整に関すること。
- ・大学院教育プログラムに関すること。
- ・シラバス及びナンバリングに関すること。
- ・学務情報統合システムに関すること。
- ・その他必要と認められる事項

② 実施状況

a 実施内容

令和5年度は、全学的に以下の取組みを行った。

- ・令和5年度教育改善のための学生アンケート (前期開講科目・後期開講科目) を実施した。
- ・令和5年度全学FD研究会を開催した。
- ・令和6年度開講科目に係るシラバス点検を実施した。
- ・その他、各種学生アンケート調査 (新入生アンケート、修士生活アンケート、卒業時アンケート、遠隔授業アンケート) を実施した。

b 実施方法

・全学FD研究会は、全教員を対象として、全体会、基盤教育部会、専門教育部会の3部構成で開催した。基盤教育部会 (科目グループ別) 及び専門教育部会 (学類別) の各分野について分科会形式による教育プログラムの分析・検討を行った。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

・令和5年度の全学FD研究会は10/26 (木) に開催し、当日200名の教員が参加した。第1部の全体会では外部講師による「生成AI」についての講演が行われ、ChatGPTの概要及び大学教育の中で、学生はChatGPTをどのように活用するのか・できるのか、その際の留意点等、研究倫理や教育と技術の関わり、ChatGPTの教育の領域での応用可能性について報告があった。第2部の基盤教育と第3部の専門教育の部会では、全体会の講演内容を踏まえ、ChatGPTを活用した授業実践・方法、授業改善などについて教員相互の意見交換を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・全学FD研究会は、全学の教員が一堂に会して教育実践上の課題や改善策を共有する契機となった。今後も引き続き全学レベル及び学類レベルのFD活動を展開し、授業改善を通じて教育の質の維持・向上を図ることとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・本学では、各セメスター終盤に「教育改善のための学生アンケート」を実施している。令和5年度は前期分を7月に、後期分を1月に実施した。次年度以降も引き続き実施することとしている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・本学では、毎年作成する「福島大学FD活動報告書」に教育改善アンケートの集計結果を掲載してホームページ上で公開してきた。今後も引き続き実施することとしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

研究科設置後、現在に至るまでの間、以下の取り組みを行った。

(1) 広報活動

・令和5年度は、自治体向けとして福島県農林水産部との定例会議、福島市農政部への個別訪問を行い、研究科の概要及び入学者動向の説明を行った。保護者向けとして入学式後及び大学祭開催に併せて保護者懇談会を開催し、新入生及び3・4年次生の保護者向けに研究科の概要説明を行った。

(2) 入学者の確保

・令和6年4月入学者として35名が入学した。完成年度となる令和6年度は、大学院教育の基盤を固めながら、更なる展開として、今後、正式に参画する連合農学研究科を通して構成大学間での教育研究活動の連携を検討する。
・高等学校向けの広報として大学院広報を重点項目として高等学校への個別訪問を計画している。

(3) 出口の支援

・令和6年度は、修了生を輩出することから福島県農林水産部の協力の下、県職員採用試験説明会を開催した。引き続き就職支援の取組を行う。また、博士課程への進学希望者向けには連合農学研究科の説明会を開催予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和6年9月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和6年9月頃を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・令和10年度までに大学機関別認証評価を受審すべく、学内で検討予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。